

### Ⅲ 複式学習指導事例及び年間指導計画例

#### 事例1 学年別指導（同教科、異単元の組合せによる指導） 第5・6学年 理科 学習指導案

1 単元名 第5学年 ふりこのきまり  
第6学年 てこの規則性

#### 2 単元の目標

第5学年

・振り子の運動の規則性について興味・関心をもって追究する活動を通して、振り子の運動の規則性について条件を制御して調べる能力を育てるとともに、それらについての理解を図り、振り子の運動の規則性についての見方や考え方をもちつことができるようにする。

第6学年

・生活に見られるてこについて興味・関心をもって追究する活動を通して、てこの規則性について推論する能力を育てるとともに、それらについての理解を図り、てこの運動の規則性についての見方や考え方をもちつことができるようにする。

#### 3 指導について（児童の実態については省略）

第5学年

本単元は、おもりを使い、おもりの重さや糸の長さなどを変えて振り子の動く様子を調べ、振り子の運動の規則性についての考えをもちつことができるようにする内容となっており、学習指導要領には、

ア 糸につるしたおもりが1往復する時間は、おもりの重さなどによつては変わらないが、糸の長さによつて変わることを示されている。

本単元では、糸におもりをつるして、おもりの1往復する時間を、おもりの重さ、糸の長さ、振れ幅を変えながら測定し、糸につるしたおもりの1往復する時間はおもりの重さや振れ幅によつては変わらないが、糸の長さによつて変わることを捉えるようにする。おもりの重さが、おもりが1往復する時間を変化させる要因になるかを調べるためには、糸の長さや振れ幅を一定にして、おもりの重さだけを変えて調べるようにする。このように、変える条件と変えない条件について、条件を制御しながら計画的に実験できるようにすることが大切である。

本単元の実験では、時間の測り方や実験装置の不備などによつて結果に誤差が生じやすいと考える。正確な実験に取り組ませる一方で、データ処理の仕方についても指導していきたい。特に今回の実験では、実験結果を表に整理するだけでなく、グラフなどを用いて表現させると、誤差と変化の違いに気付かせることができる。本単元を通して、誤差の考え方を指導するとともに、実験には誤差が生じることを理解させ、誤差を踏まえながらデータを処理し、結果を正しく解釈する力を身に付けさせるようにしたい。

第6学年

本単元は、てこを使い、力の加わる位置や大きさを変えて、てこの仕組みや働きを調べ、てこの規則性についての考えをもちつことができるようにする内容となっており、学習指導要領には、

ア 水平につり合った棒の支点から等距離に物をつるして棒が水平になったとき、物の重さは等しいこと。

イ 力を加える位置や力の大きさを変えると、てこを傾ける働きが変わり、てこがつり合うときにはそれらの間に規則性があること。

ウ 身の回りには、てこの規則性を利用した道具があることを示されている。

本単元では、1本の棒を使って物を動かす活動を通して、動かしたときの手ごたえが、支点から力点までの距離によつて違うことを体感させるとともに、支点から力点までの距離と手ごたえの大きさとの関係に規則性があるのではないかという見通しをもたせたい。そして、てこを傾ける働きが大きさが、「（力点にかかるおもりの重さ）×（支点から力点までの距離）」で決まり、両側のてこを傾ける働きが大きさが等しいときにつり合うという「てこのつり合いの規則性」を、てこ実験器などを用いて捉えさせたい。さらに、「てこの利用」について学習し、身の回りにある様々な道具で、てこの規則性が利用されていることを捉えさせたい。

#### 4 単元の関連と系統

小3

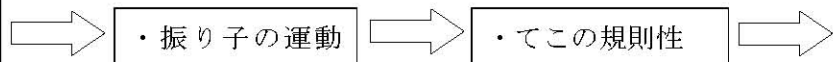
・風やゴムの働き  
・光の性質  
・磁石の性質

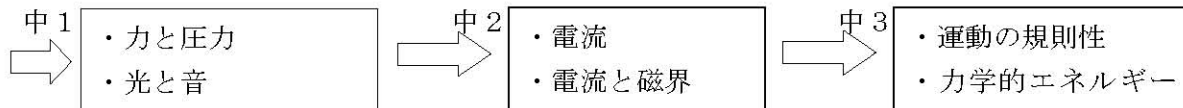
小5

・振り子の運動

小6

・てこの規則性





5 単元の評価規準

	ア 自然事象への 関心・意欲・態度	イ 科学的な 思考・表現	ウ 観察・実験の 技能	エ 自然事象につい ての知識・理解
第5学年	①振り子の運動の变化に興味・関心をもち、自ら振り子の運動の規則性を調べようとしている。 ②振り子の運動の規則性を適用してものづくりをしたり、その規則性を利用した物の工夫を見直したりしようとしている。	①振り子の運動の变化とその要因について予想や仮説をもち、条件に着目して実験を計画し、表現している。 ②振り子の運動の变化とその要因を関係付けて考察し、自分の考えを表現している。	①振り子の運動の規則性を調べる工夫をし、それぞれの実験装置を的確に操作し、安全で計画的に実験やものづくりをしている。 ②振り子の運動の規則性を調べ、その過程や結果を定的に記録している。	①糸につるしたおもりが1往復する時間は、おもりの重さや振れ幅によっては変わらないが、糸の長さによって変わって変わって理解している。
第6学年	①てこやてこの働きを利用した道具に興味・関心をもち、自らてこの仕組みやてこを傾ける働き、てこが合うときの規則性を調べようとしている。 ②てこの働きを適用してものづくりをしたり、日常生活に使われているてこの規則性を利用した道具を見直したりしようとしている。	①てこが合うときのおもりの重さや支点から力点までの距離を関係付けながら、てこの規則性について予想や仮説をもち推論しながら追究し、表現している。 ②てこの働きや規則性について、自ら行った実験の結果と予想や仮説を照らし合わせて推論し、自分の考えを表現している。	①てこの働きを調べる工夫をし、てこ実験装置などを操作し、安全で計画的に実験やものづくりをしている。 ②てこの働きの規則性を調べ、その過程や結果を定量的に記録している。	①水平につり合った棒の支点から等距離に物をつるして棒が水平になったとき、物の重さは等しいことを理解している。 ②力を加える位置や力の大きさを変えると、てこを傾ける働きが変わり、てこが合うときにはそれらの間に規則性があることを理解している。 ③身の回りには、てこの規則性を利用した道具があることを理解している。

6 指導と評価の計画（第5学年 全7時間、第6学年 全9時間）

第5学年				第6学年			
次	時	ねらい、学習活動	評価規準及び評価方法	次	時	ねらい、学習活動	評価規準及び評価方法
一	1	・振り子の振れ方には、何かきまりがあるのだろうか。	アー① 行動観察	一	1	・バールでくぎを抜いたり棒で重い物を動かしたりして、楽に作業できるだろうか。	アー① 発言・記述分析
	2	・振り子が1往復する時間は、どんな条件で変わのだろうか。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">問題把握、見通し</span>	イー① 行動観察・発言・記述分析		2	・てこをどう使えば、物を動かすことができるのだろうか。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">問題把握、見通し</span>	イー① 行動観察・発言・記述分析
	3 4	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">実験</span>	ウー② 行動観察・記録分析		3 4	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">実験 考察</span>	ウー① 行動観察・記録分析 エー② 記述分析
	5 本時	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">考察</span>	イー② 発言・記述分析	二	5 本時	・てこが水平につり合うとき、どのようなきまりがある	イー① 発言・記述分析

二	6	・振り子のきまりを利用して、1往復する時間が1秒の振り子をつくるのことができるのだろうか。 ものづくり	エー① 記述分析	のだろうか。 問題把握、見通し 実験 考察	ウー② 行動観察・記録分析
	7		ウー① 行動観察・記録分析 アー② 行動観察、記述分析		イー② 発言・記述分析 エー① 記述分析 アー②
三	8			・てこの規則性は、道具のどこに利用されているのだろうか。 問題把握、見通し 実験 考察	イー② 発言・記述分析 エー③ 記述分析
	9				

## 7 本時案

### (1) 本時の目標

第5学年 振り子が1往復時間は、おもりの重さや振れ幅に関係なく、振り子の長さによって変わることが分かる。

第6学年 てこが水平につり合うときのきまりについて、見通しをもつことができる。

### (2) 本時の評価規準

第5学年 イー②、エー①

第6学年 イー①

### (3) 本時の展開

学習活動	指導上の留意点と評価	指導上の留意点と評価	学習活動
1 問題を確認める。		・問題を確認させる。	1 問題を確認める。
振り子が1往復する時間は、どんな条件で変わるのだろうか。		てこが水平につり合うとき、どのようなきまりがあるのだろうか。	
2 結果を基に考察する。	・予想と比べさせ、何が分かったかを考えさせる。		
3 考察を発表する。	・変えた条件が、振り子が1往復する時間に関係するのかどうかを発表させる。 イー②(発言・記述分析)	・経験を基に予想させ、予想を確認める方法を考えさせる。	2 予想をする。
4 話し合い、まとめる。	・振り子が1往復する時間が変わる条件は何なのか、まとめさせる エー①(記述分析)	・おもりの位置や重さを数値で表すことや多くのデータが必要であることに気付かせる。 ・実験用てこの操作や結果の記録の仕方について確認させる。 ・よかった点をほめる。 イー①(発言分析)	3 予想を確認めるための方法を発表し話し合う。
5 本時の学習を振り返り、次時の学習について確かめる。	・よかった点をほめ、次時の学習への意欲をもたせる。	・次時の学習への意欲をもたせる。 イー①(記述分析)	4 本時の学習を振り返り、次時の学習について確かめる。

**事例2** 同単元指導（同内容指導）

第1・2学年 音楽科 学習指導案

1 題材名 ようすをおもいうかべて

2 題材の目標

第1学年

- ・歌詞の表す様子や気持ちを想像したり、楽曲の気分を感じ取ったりすることに関心をもち、楽しく音楽に関わる。
- ・歌詞の表す様子や気持ちを想像して、歌い方を工夫する。
- ・歌詞の内容や楽曲の気分にあった表現で歌う。
- ・楽曲の気分の変化を感じ取ったり、場面の様子を想像したりしながら楽曲の楽しさに気付いて聴く。

第2学年

- ・歌詞の表す様子や気持ちを想像したり、楽曲の気分を感じ取ったりすることに関心をもち、想像豊かに歌ったり聴いたりする学習に進んで取り組む。
- ・歌詞の表す様子や気持ちを生かし、楽曲の気分にあふさわしい歌い方を工夫する。
- ・歌詞の内容や楽曲の気分にあふさわしい表現で歌う。
- ・楽曲の気分や音楽を形づくっている要素とその関わり合いを感じ取り、楽曲や演奏の楽しさに気付いて聴く。

3 教材 「おどるこねこ」 ルロイ アンダソン 作曲  
「こぎつね」 勝 承夫 作詞 ドイツ民謡

4 題材について（児童の実態については省略）

本題材で扱う鑑賞教材「おどるこねこ」は、身近な動物である猫をテーマにしていることから、児童が興味をもって楽しく聴くことができる楽曲である。

また、A-B-A'-Codaという構成でできており、場面を想像して楽曲の気分の違いを感じ取りやすい。ヴァイオリンが奏でる猫の鳴き声を手掛かりとして、猫の様子を思い浮かべて身体表現をさせたり、言葉で表現させたりして、様々な感じ方や表現を交流することにより楽曲のよさや楽しさに気付かせたい。

歌唱教材「こぎつね」の歌詞は、こぎつねが会う様々な場面を描く内容であることから、こぎつねの様子や気持ちを想像して歌い方の工夫がしやすいと考える。速度や強弱を変化させて場面にあふさわしい歌い方を工夫する学習活動を取り入れて、思いや意図をもって表現する力を身に付けさせたい。

複式学級における音楽科の指導では、表現（歌唱）と鑑賞の学習活動は異学年でも共通の題材で同じ教材曲を扱う場合が多いが、題材の目標や評価規準についてはそれぞれの学年に応じて設定する必要がある。学年段階における目標を明確にした上で、上学年はこれまでの学習を確認し、下学年は発展的な学習につながる授業形態の利点を生かした学習指導を目指していきたい。

5 題材の評価規準

	音楽への 関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
	①楽曲の気分の変化を感じ取ったり、場面の様子を想像	①歌詞が表すこぎつねの様子や気持ちを想像したり、楽	①歌詞に表されているこぎつねの様子や気持ち、	①楽曲の気分の変化を感じ取ったり、場面の様子

第一学年	<p>したりして聴く学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>【関－①鑑賞】</p> <p>②歌詞から様子や気持ちを想像したり、こぎつねになったつもりで歌ったりすることに進んで取り組もうとしている。</p> <p>【関－②歌唱】</p>	<p>曲の気分を感じ取ったりして表現を工夫し、どのように歌うかについて考えをもっている。</p> <p>【創－①歌唱】</p>	<p>楽曲の気分にあった表現で表情豊かに歌っている。</p> <p>【技－①歌唱】</p>	<p>を想像したりしながら聴いている。</p> <p>【鑑－①】</p>
第二学年	<p>①音楽を特徴付けている要素を聴き取ったり、楽曲の気分の変化を感じ取ったりする学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>【関－①鑑賞】</p> <p>②歌詞からこぎつねの気持ちや場面の変化を想像したり、それらに合った表現で歌うことに進んで取り組もうとしている。</p> <p>【関－②歌唱】</p>	<p>①歌詞が表すこぎつねの気持ちや場面の变化を想像したり、楽曲の気分を感じ取ったりして、曲の場面にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて考えや願いをもっている。</p> <p>【創－①歌唱】</p>	<p>①歌声や発音に気を付け、楽曲の気分や場面に合った表現で歌い方を工夫している。</p> <p>【技－①歌唱】</p>	<p>①音色、旋律、速度の変化を聴き取り、それらの関わり合いから楽曲の気分を感じ取って楽曲全体を聴いている。</p> <p>【鑑－①】</p>

## 6 指導と評価の計画（全4時間）

時	第1学年		第2学年
	ねらい、評価規準・評価方法	学習活動	ねらい、評価規準・評価方法
1	<p>○様子を思い浮かべて聴く</p> <p>【関－①鑑賞】</p> <p>鑑賞をしているときの表情や体を動かしている様子、発言の内容から</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様子を思い浮かべながら、音楽に合わせて体を動かしたり鳴き声をまねたりしながら楽曲全体の気分を楽しむ。</li> <li>楽曲全体を聴いて、感じたことや気付いたことを互いに伝え合う。</li> </ul>	<p>◎曲の気分を感じ取って想像豊かに聴く</p> <p>【関－①鑑賞】</p> <p>鑑賞をしているときの表情や体を動かしている様子、発言の内容から</p>
2	<p>○音楽の様子が変わるところに気を付けて聴く</p> <p>【鑑－①】</p> <p>AとBの違いを生かして体を動かしている様子や発言の内容から</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽曲の気分を感じ取りながら楽しんで聴く。</li> <li>場面の様子を思い浮かべて聴き、猫の鳴き声や楽曲の気分が変わるところで挙手する。</li> <li>気分が変わったと感じた理由を発表し合う。</li> <li>友達の発表でよいと思ったところや、自分との感じ方の違いを見付けながら聴く。</li> </ul>	<p>◎曲の気分や音楽を形づくっている要素とその関わり合いを感じ取って聴く</p> <p>【鑑－①】</p> <p>A、B、Aの再現、コーダの違いを生かして体を動かしている様子や発言の内容から</p>

3	○こぎつねの気持ちを思い浮かべて歌う <b>【関一②歌唱】</b> 歌っている様子や体を動かしている様子から	・こぎつねの様子を思い浮かべながら範唱を聴く。 ・こぎつねの気持ちの変化や季節の移り変わりを感じ取る。 ・歌詞を大切に歌う。	◎歌詞の場面を想像して歌う <b>【関一②歌唱】</b> 歌っている様子や体を動かしている様子から
4	○歌詞の内容や曲の気分合った表現で歌う。 <b>【創一①歌唱】</b> <b>【技一①歌唱】</b> 歌っている様子、体を動かしている様子、演奏から	・歌詞を朗読したり、こぎつねの様子を想像して体を動かしたりしてイメージを膨らませる。 ・繰り返される旋律の歌い方を工夫する。 ・歌詞の表すそれぞれの場面やこぎつねの気持ちに合った歌い方を工夫する。	◎歌詞の表す様子や場面、楽曲にふさわしい歌い方を工夫する。 <b>【創一①歌唱】</b> <b>【技一①歌唱】</b> 歌っている様子、体を動かしている様子、演奏から

## 7 本時の目標

### 第1学年

楽曲の気分の変化を感じ取ったり、場面の様子を想像したりしながら楽曲の楽しさに気付いて聴く。

### 第2学年

楽曲の気分や音楽を形づくっている要素とその関わり合いを感じ取り、楽曲や演奏の楽しさに気付いて聴く。

## 8 本時の展開 (略案) (2 / 4時)

○ねらい(1学年)◎(2学年)・学習活動	●指導上の留意点 ◆評価(評価方法)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽曲の気分を感じ取りながら楽しんで聴く。</li> <li>・本時のめあてを確認する。               <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                 ○音楽の様子が変わるところに気を付けて聴く                  子ねこのうごきをかながえてきこう                  ◎曲の気分や音楽を形づくっている要素とその関わり合いを感じ取って聴く                  音楽のかんじがかわるところにきをつけてきこう               </div> </li> <li>・場面の様子を思い浮かべて聴き、猫の鳴き声や楽曲の気分が変わるところで挙手する。</li> <li>・気分が変わったと感じた理由を発表し合う。</li> <li>・曲に合わせて猫の動きを考えたり、体を動かしたりして自分の感じたことを伝え合う。</li> <li>・友達の発表でよいと思ったところや、自分との感じ方の違いを見付けながら聴く。</li> <li>・学習のまとめをする。 (めあての振り返り)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●猫の鳴き声が聴こえたところで黒板に猫マークを貼ったり、聴き取った「音楽を形づくっている要素」を書き込んだりして、音楽の流れや特徴を視覚化する。</li> <li>◆第1学年 <b>【鑑一①】</b> (発言内容、行動観察)</li> <li>◆第2学年 <b>【鑑一①】</b> (発言内容、行動観察)</li> <li>●曲の感じが変わるところに気を付けて聴くことができたか、音楽を形づくっている要素の関わり合いを感じ取ることができたかを振り返らせる。</li> </ul>

**事例3** 同単元指導（類似内容指導）

**第3・4学年 図画工作科 学習指導案**

**1 題材名** 「村に伝わる昔話から」 A表現(2)・B鑑賞(1)

**2 題材の目標**

第3学年

- ・自分の好きな場面から想像したことを絵に表す活動を楽しもうとする。
- ・自分の好きな場面から想像したことを表すために、形や色などを考える。
- ・絵の具を重ねて塗ったり、混ぜたりするなど、いろいろ試みながら、表し方を工夫する。
- ・感じたことを話したり、簡単な文章で書いたりしながら、自分たちの作品のよさや面白さなどを感じ取る。

第4学年

- ・自分の心に残った場面から想像したことを絵に表す活動を楽しもうとする。
- ・自分の心に残った場面から想像したことを表すために、形や色、組合せなどを考える。
- ・場面の様子に合わせて、絵の具や他の描画材料を用いて、いろいろ試みながら、表し方を工夫する。
- ・感じたことを話したり、文章で書いたりしながら、自分たちの作品のよさや面白さなどを感じ取る。

**3 題材について（児童の実態については省略）**

図画工作科における複式指導では、両学年共通の題材を扱う場合と異なる題材を扱う場合が考えられるが、造形遊び、絵、立体、工作、鑑賞といった活動内容は共通で扱うほうが、材料・用具の準備等、学習環境を整える上でメリットが大きいだけでなく、学習の過程で、上学年は既習事項を確認できるとともに下学年は発展的な内容を知る機会とすることができる。

特に、発想や構想の能力及び鑑賞の能力を働かせる場面では、異学年間での話合い活動は、多様なものの見方や考え方、表現の工夫等を学ぶ上で有効な手立てとなる。

いずれの場合においても、児童が自ら「やってみたい」と思えるように、児童を取り巻く生活、経験や体験、環境や文化などの中から、児童の興味・関心が高く、表現の対象として身近に感じられるものを題材化することが大切である。

本校では総合的な学習の時間で、児童たちは村に伝わる昔話を集めた本づくりを行っている。保護者や地域の方から聞き取りを行ったり、図書館で調べたりする活動を通して、郷土に伝わる昔話に対する関心を深めている。

そこで、児童が最も興味をもった昔話を題材に、自分の好きな場面や心に残った場面を絵に表すことを通して、物語に対する児童のイメージをより豊かに深めたいと考えた。

第3学年では、個人用の水彩絵の具を初めて使用するので、基本的な扱い方に慣れるとともに、色を重ねて塗ったり、混ぜたり、にじませたりするなど、児童がいろいろな扱い方を試しながらイメージを広げられるようにしたい。

また、第4学年では、水彩絵の具だけでなく、ペンやクレヨン、パスなどこれまで使用した他の描画材料を併用したり、色画用紙などに描いたりするなど、幅広い表現を試しながら、自分のイメージに合った形や色を見付けられるようにしたい。

#### 4 題材の評価規準

	造形への 関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
第3学年	・自分の好きな場面から想像したことを絵に表す活動を楽しもうとしている。	・自分の好きな場面から想像したことを表すために、形や色などを考えている。	・絵の具を重ねて塗ったり、混ぜたりするなど、いろいろ試みながら、表し方を工夫している。	・感じたことを話したり、簡単な文章で書いたりしながら、自分たちの作品のよさや面白さなどを感じ取っている。
第4学年	・自分の心に残った場面から想像したことを絵に表す活動を楽しもうとしている。	・自分の心に残った場面から想像したことを表すために形や色、組合せなどを考えている。	・場面の様子に合わせて、絵の具や他の描画材料を用いるなどいろいろ試みながら表し方を工夫している。	・感じたことを話したり、文章で書いたりしながら、自分たちの作品のよさや面白さなどを感じ取っている。

#### 5 指導と評価の計画（全6時間）

時	第3学年		時	第4学年	
	学習活動	評価規準及び評価方法		学習活動	評価規準及び評価方法
1	・自分の好きな場面を決める。 ・主人公になったつもりで、自分の好きな場面から想像したことを基に、形や色を考え、サインペンで線描きする。	関活動の様子から 発活動の様子や製作中の作品から	2	・自分の心に残った場面を決める。 ・自分の心に残った場面から想像したことを基に、形や色、それらの組合せなどを考えてアイデアスケッチをする。	関活動の様子から 発活動の様子や製作中の作品から
4	・重色、混色などの絵の具の扱い方に慣れる。 ・自分のイメージに合った色で表す。	関活動の様子から 創活動の様子や製作中の作品から	3	・場面の様子に合わせて、絵の具や他の描画材料を用いるなどいろいろ試みながら工夫して表す。	関活動の様子から 創活動の様子や製作中の作品から
1	・自分が表したかったことを簡単な文章に表す。 ・自分たちの作品から感じたよさや面白さを話し合う。	鑑活動の様子やワークシートから	1	・自分が表したかったことを文章に表す。 ・自分たちの作品から感じたよさや面白さを話し合う。	鑑活動の様子やワークシートから

#### 6 本時案（2／6時）

##### （1）本時の目標

##### 第3学年

絵の具を重ねて塗ったり、混ぜたりするなど、絵の具の扱い方に慣れる。

##### 第4学年

自分の心に残った場面から想像したことを基に、形や色、それらの組合せなどを考えてアイデアスケッチをする。



(2) 本時の評価規準

第3学年

絵の具を重ねて塗ったり、混ぜたりするなど、いろいろな表し方を試みている。

第4学年

自分の心に残った場面から想像したことを表すために、形や色、組合せなどを考えている。

(3) 本時の展開

第3学年		指導者の動き		第4学年	
学習活動	指導上の留意点と評価			指導上の留意点と評価	学習活動
1 めあてや学習方法を確認する	・本時の学習課題を示し、学習の手順を確認する。	直接指導	間接指導	・前時の内容を踏まえ、参考資料などを準備させる。	1 自分の心に残った場面から想像したことを基に、アイデアスケッチをする。
いろいろな絵のぐのぬりかたをためしてみよう				・本時の学習課題を示し、学習の手順を確認する。	2 めあてや学習方法を確認する。
2 絵の具の準備をする。	・教科書を参考に使いやすい絵の具の置き方を工夫するように助言する。	間接指導	直接指導	・本時の学習課題を示し、学習の手順を確認する。	場面や登場人物の形や色、組合せなどを考えながらアイデアスケッチをしよう
3 絵の具の基本的な扱い方を知る。	・パレットの扱い方や水加減の調節など基本的な事項を指導する。	直接指導	間接指導	・イメージが湧かないときは教科書などを参考にするように助言する。	3 場面や登場人物の形や色、組合せなどを考えながら自分のイメージに合った描画材料でアイデアスケッチをする。
4 絵の具の基本的な扱い方に慣れる。	・失敗を恐れずいろいろな表し方を試せるようにする。 創 絵の具を重ねて塗ったり、混ぜたりするなど、いろいろな表し方を試みているか、活動の様子や製作中の作品から評価する。	間接指導	直接指導	・机間指導で、児童の表したいイメージに合わせて個別に助言する。 発 想像したことを表すために、形や色、組合せなどを考えているか、活動の様子やアイデアスケッチから評価する。	
5 本時と次時の確認をする。	・自分たちの作品を鑑賞し合い、本時の課題の成果を互いに確認させる。 ・次時の製作の見通しをもたせるとともに、準備物の確認をする。	直接指導		・自分たちの作品を鑑賞し合い、本時の課題の成果を互いに確認させる。 ・次時の製作の見通しをもたせるとともに、準備物の確認をする。	4 本時と次時の確認をする。

#### 事例4

同単元指導（類似内容指導）

### 第2・4学年 体育科学習指導案

#### 1 単元名 ボール運動

第2学年 ボールゲームをしよう。

第4学年 ティーボールをしよう。

#### 2 単元の目標

##### 第2学年

- ・ゲームのきまりを守り、友達と仲よくゲームをし、勝敗の結果を素直に受け入れようとする。
- ・得点の方法を考えたり、攻め方を見付けたりする。
- ・ボールを打ったり、捕ったりする基本的なボール操作を身に付ける。

##### 第4学年

- ・ゲームのルールやマナーを守り、友達と協力してゲームを行い、勝敗の結果を素直に認めようとする。
- ・自分たちに合ったルールを工夫したり、有利に得点するための作戦を立てたりする。
- ・ボールを打つ、投げる、捕るなどのゲームに必要な技能を身に付ける。

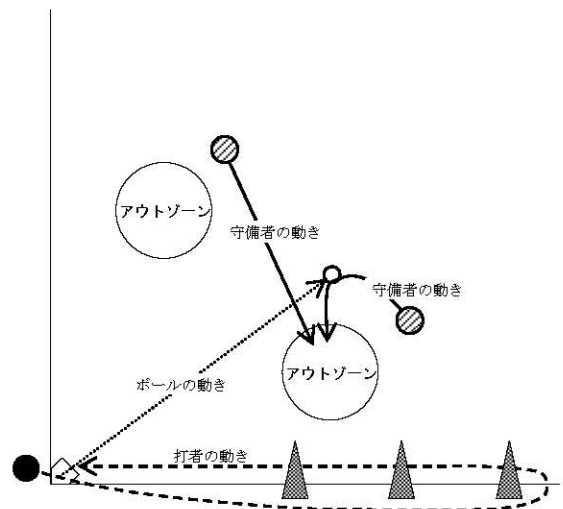
#### 3 指導について（児童の実態については省略）

このゲームは、少人数でも楽しめるようにしたベースボール型ゲームである。攻撃側は、ボールを打った打者が、グラウンドに置かれた複数のコーンのうち、より遠くのコーンを回るほど高得点となる。守備側は、攻撃側の打球を捕球し、打者が本塁に戻ってくるよりも早く、グラウンド内のアウトゾーンに集合すれば、アウトになる。

この単元では、攻撃側は、ボールをフェアグラウンド内の人のいないところへ打ち、より速く、より遠くのコーンを回って得点することを工夫させたい。守備側は、素早く捕球しアウトを取ることができるように、守備位置やボールパスの連携など友達と協力したプレーができるようにさせたい。そのために、ゲームを始める前にボールを打つ、捕る、投げるなどのプレーの基礎となる動きを十分に練習させたい。

第2学年では、中学年で行うベースボール型ゲームの基礎となる動きの学習であると考え。そのためには、楽しんでボールの扱いに慣れ、スムーズに移行できるように指導していきたい。

第2学年、第4学年合わせて3名という少人数なので、本格的なベースボール型ゲームの指導は難しい面もあるが、この運動に興味や関心をもち、将来において多くの人たちとベースボール型のゲームを楽しめるように指導していきたい。



4 指導と評価の計画（第2学年 全6時間・第4学年 全6時間）

		第一次 ゲームのルールを知り、練習する。		第二次 試しのゲームをし、練習する。			第三次 ゲームを行う。
		1時	2時	3時	4時	5時(本時)	6時
第2学年	学習活動	・ボールゲームのきまりを知る。	・ボールの投げ方や打ち方を身に付ける。	・ボールの飛んでくる位置に動く。	・ボールをフェアグラウンド内に打つ。	・ねらったところにボールを打ち、捕球できるようになる。	・楽しくゲームをする。
	評価規準	(関) ボールゲームに関心を持ち、進んでゲームをしようとしている。	(関) 友達と仲良く励まし合い、協力しようとしている。	(技) ボールの飛んでくる位置にうごくことができる。 (思) 自分たちに合ったルールを作ろうとしている。	(技) ボールをフェアグラウンド内に打つことができる。	(技) ゲームの特徴に応じた簡単なボール操作や動きができる。	(思) ボールゲームの攻め方を見付けている。 (技) ゲームの特徴に応じた簡単なボール操作や動きができる。
第4学年	学習活動	・テーパーボールのルールについて知る。	・ルールを守り、友達と励まし合って練習する。	・自分たちに合ったルールを考えたり、工夫したりする。	・ねらったところにボールを打つ。	・ねらったところにボールを打ったり、素早く捕球したりすることを身に付ける。	・みんなで楽しくゲームをする。
	評価規準	(関) テーパーボールに関心を持ち、ゲームに進んで取り組もうとしている。	(関) ルールを守り、友達と励まし合って練習しようとしている。 (関) 用具の準備や片付けを友達と一緒にしようとしている。	(技) ボールの飛んでくる位置に動き、捕球等の技能を身に付けている。 (思) 自分たちに合ったルールを考えたり、工夫したりしている。	(技) ねらったところにボールを打つことができる。 (思) 簡単な作戦を立てている。	(技) ゲームの特徴に応じた運動技能を身に付けている。	(思) ベースボール型ゲームの特徴に応じた作戦を立てている。 (技) ゲームの特徴に応じた運動技能を身に付けている。

(関) 関心・意欲・態度 (思) 思考・判断 (技) 運動の技能

5 本時案

(1) 本時の目標

第2学年

ねらったところにボールを打ち、捕球できるようになる。

第4学年

ねらったところにボールを打ったり、素早く捕球したりする動きを身に付ける。

(2) 本時の展開 (5/6時)

第2学年		第4学年		
学習活動	教師の支援と評価 (☆)	指導者の動き	教師の支援と評価 (☆)	学習活動
		2年生 ねらったところにボールを打ち、捕球できるようになろう。 4年生 ねらったところにボールを打ったり、素早く捕球したりする動きを身に付けよう。		
1 今日のめあてを知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体育カードに自分のめあてを書かせる。</li> <li>・ 書き方の支援をする。</li> </ul>	直接指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体育カードに自分のめあてを記入させ、学習の課題意識をもたせる。</li> </ul>	1 今日のめあての確認をする。
2 準備体操をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体操をさせる。</li> <li>・ ボールを使った体操をさせる。</li> </ul>		間接指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友達をリードしながら進んで体操するようにさせる。</li> </ul>
3 ボール運動のサーキットトレーニング練習をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ キャッチボールや壁あてなどをさせる。</li> <li>・ ボールの扱いに慣れさせる。</li> <li>・ 打ち方の練習をさせる。</li> </ul>	直接指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ キャッチボールや壁あてなどをさせる。</li> <li>・ スムーズにボール操作ができるように支援する。</li> <li>・ 人がいないところへボールが打てるように支援する。</li> </ul>	3 ボール運動のサーキットトレーニング練習をする。
		間接		
4 自分たちで決めたルールでゲームをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 楽しんでゲームをさせる。</li> <li>・ 今までのゲームを思い出し、基本的な動きができるように支援する。</li> </ul> ☆ゲームの特徴に応じた簡単なボール操作や動きができる。(技)	直接指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友達と協力させる。</li> <li>・ ゲームの特徴に応じた動きを工夫させる。</li> </ul> ☆ゲームの特徴に応じた運動技能を身に付けている。(技)	4 自分たちで決めたルールでゲームをする。
		間接		
5 整理体操をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今日の運動を使ったところを中心に行うように促す。</li> </ul>	直接指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今日の運動で使ったところを中心に行うように促す。</li> </ul>	5 整理体操をする。
		間接		
6 まとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体育カードに記入させる。</li> <li>・ 自分のめあてを確認させる。</li> </ul>	直接指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体育カードに記入させる。</li> <li>・ 自分のめあてを確認させる。</li> </ul>	6 まとめをする。
		間接		

年間指導計画例 同単元指導（同内容指導）

第3・4学年 社会科複式年間指導計画

A年度			B年度		
月	学習指導要領	■単元（時間数）	月	学習指導要領	□単元（時間数）
4	(1)①	■わたしたちの住んでいるところ(13) ・わたしたちのまちのようす	4	(1)②	□わたしたちの住んでいるところ(11) ・わたしたちの市のようす
5			5	(2)②	□くらしをささえるまちではたらく人びと(12) ・畑ではたらく人びとの仕事
6	(2)①	■くらしをささえるまちではたらく人びと(15) ・店ではたらく人びとの仕事	6		
7			7	(5)②	□今にのこる昔とくらしのうつりかわり(9) ・昔からつたわる行事
9	(5)①	■今にのこる昔とくらしのうつりかわり(10) ・昔の道具と人びとのくらし	9	(4)②	□安全なくらしを守る(10) ・ふせごう、交通事故や事件
10	(4)①	■安全なくらしを守る(10) ・なくそう、こわい火事	10	(3)②	□健康なくらしをささえる(14) ・命とくらしをささえる水
11			11		
12	(3)①	■健康なくらしをささえる(12) ・ごみのしまつと活用	12	(5)③	□地域の発展につくした人々(13) ・よみがえらせよう、われらの ひろ 広村
1	(6)②	■わたしたちの住んでいる県(20)	1		
2			2	(6)①	□わたしたちの住んでいる県(11)
3			3		
合計 80時間			合計 80時間		

○上記の年間指導計画では、単元を2つに分け、A・B両年度に学習指導要領の内容を配分している。このことにより、転入によって、複式学級から単式学級になった場合においても学習内容を系統的に指導することができる。

第5・6学年 社会科複式年間指導計画

A年度			B年度		
月	学習指導要領	■ 単元（時間数）	月	学習指導要領	□ 単元（時間数）
4	5（1） ①	■日本の国土と人々の暮らし（6） ・日本ってどんな国	4	5（1） ②	□日本の国土と人々の暮らし(12) ・さまざまな土地の暮らし
5	5（2） ①	■わたしたちの食生活と食料生産(9) ・米作りのさかんな地域	5	5（2） ②	□わたしたちの食生活と食料生産(19) ・水産業のさかんな地域
6	6（1） ①	■日本のあゆみ(19) ・大昔の暮らしと国の統一 ～貴族の暮らし～	6		・これからの食料生産
7			7	6（1） ②	□日本のあゆみ(27) ・明治維新から世界のなかの日本へ
9	5（3） ②	■工業の発達とわたしたちの暮らし(13) ・日本の工業の特色	9		・アジア・太平洋に広がる戦争 ～新しい日本のあゆみ～
10	5（4） ①	■わたしたちの暮らしをささえる情報(5) ・情報を伝える	10		□工業の発達とわたしたちの暮らし(11) ・自動車工業のさかんな地域
11	5（1） ④	■国土の環境を守る(10) ・国土の開発と自然 ・自然災害から人を守る	11	5（3） ①	
12	6（1） ③	■日本のあゆみ(26) ・武士による政治のはじまり	12	5（4） ②	□わたしたちの暮らしをささえる情報(11) ・情報化社会を生きる
1		・天下統一と江戸幕府 ・江戸時代を生きた人々	1	5（1） ③	□国土の環境を守る(6) ・自然を守る運動
2	6（2） ②		■わたしたちの暮らしと政治（7） ・わたしたちの暮らしと憲法	2	6（2） ①
3	6（3） ①	■世界のなかの日本とわたしたち（7） ・日本とつながりの深い国々	3	6（3） ②	□世界のなかの日本とわたしたち（10） ・国際連合と日本人の役割
合計 102時間			合計 103時間		

○上記の年間指導計画では、A・B両年度に学習指導要領の内容を配分している。特に6年生の歴史や政治の学習内容を5年生段階から学習を行うことになるので下学年の児童の発達段階を配慮する必要がある。